

(様式) 府立松原高等学校 「学校協議会」 報告書 (第2回)

日 時	平成27年12月12日 (土) 14:00~17:00			
出席者	協議会委員	職名等	学校事務局	校務分掌等
	房本 晃	社会福祉法人バオバブ福祉会理事	中須賀 久 尚	教頭
	吉 川 年 幸	松原市立松原第三中学校長	麦 田 伸 一	首席
	菊 地 栄 治	早稲田大学教授	伊 藤 あ ゆ	首席
	峯 本 耕 治	弁護士	山 口 裕 子	人権教育主担
	高 橋 実 加	本校PTA会長	木 村 悠	人権教育主担
	教職員等			
	易 寿也 (大阪芸術大学)・林 茂樹 (摂南大学) 森本 智美 (スクールソーシャルワーカー)・高橋 義浩 (大阪府教育センター) 畑中 幸子 (松原市立布忍小学校教諭)・大西 亮一 (松原市立布忍小学校教諭) 安田 智昭 (松原市立松原第三中学校教諭) 糀 秀章 (校長) 高倉 麻衣・中島 弥香・中川 泰輔・片岡 拓也・合羽 亘・大久保 諭・新熊 佳苗			
おもな テーマ	1) 校長挨拶、参加者紹介 2) リレートーク「どんなバトンを渡していくか」 3) 協議会委員からの感想・提言			
協議内容 の概略	○本年度の「学校経営計画」の説明 (糀校長) グローバルな視点で地域社会を支える人を育てる、インクルーシブな総合学科高校 ○リレートーク「どんなバトンを渡していくか」 ・小学校 (畑中教諭)、中学校 (安田教諭)、高 校 (中川教諭) 生徒Aをめぐる各校の取り組み ○ 協議委員からのご意見、提言			
提言内 容・改善 方策	<ul style="list-style-type: none"> ・Aの保護者の生活背景について。療育手帳取得については社会性で評価が変わることも。 ・稀有な事例。時系列に沿って、変わったこと、変わらないことが見えた。引継ぎについては、人間は複雑で、〇〇だ、とレッテルを貼ってはいけない。優しい社会作りと同時並行で、北海道の「べてるの家」の当事者研究のように、自分の状態と上手に向き合っていく目線が必要。 ・地域のつながりで安心感を与えていける。何があれば暴力に訴えなくて良くなるか。 ・ソーシャルワーク的には周囲に愛されにくい状態であったが、恵まれた環境で愛情保障と発達保障がなされてきた。 ・周りも同時に成長していったのがすごい。 ・「系統性のある支援事業」では三中校区のようなモデルを増やしていきたい。11年間を見通した人間関係作り、進路保障。本日のリレートークの3人の語りが、日本語通訳なしで大阪のどれだけの教員が理解できるか。 ・何を引き継いでいくのかは、情報や書類だけでなく支援の共同性、多様性の保障を。 ・本人が信頼している人が、機関とつなぐとスムーズ。 ・ 			